2023年度

藍畑だより

第13号

2023.7.14(金)
発行責任者 上萩琴美

夏休みを前に

夏休みまでに登校する日数が後3日となりました。振り返ると，一学期は，めまぐるしい変化に富んだ4か月間でした。

毎夕，職員室で子どもたちの成長等について語り合う時間はとても貴重で，どの職員も嬉しそうです。学校教育の力を実感し，ご協力いただいているご家庭での教育に感謝する時間となっています。42日間の夏休み，今年も宿題は選択制を多く取り入れ，子どもたちの負担を軽減しています。お手伝い等の様々な体験をさせていただければと思います。

今年の夏は，4年ぶりに待ち望んでいたプール開放が実現します。9月には一段と逞しく成長した子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

【4年生 使った水はどこへ】7月12日(水)

社会科「水はどこから」の学習の一環で，県の水・環境課の方をお招きし，自分たちが使う水がどこから送られ，使い終わった水がどう処理されるのか等を詳しく教えていただきました。

1日に使う水の量にも驚き，水を大切にしなければいけないことを改めて感じたようです。

【郡水泳能力検定 校内検定会】7月13日(木)

今年は石井ドームが改装中のため，各校で7月第2週の1日で検定会を実施し，その記録で県水への出場者を決めることになり，5･6年生から8名の希望者が参加しました。

子どもたちにとっては，泳ぎ慣れた学校のプールで測定できる安心感がある一方，他校の選手との触れ合いや競争心に欠ける面もありますが，検定の日には，6月中旬からの練習の成果を存分に発揮してくれました。

【薬物乱用防止のためのキャンペーン】

6月26日は国連の「国際麻薬乱用撲滅デー」です。国連が1987年にウィーンで開催した「国際麻薬閣僚会議」の終了日である6月26日を，「国際麻薬乱用撲滅デー」とすることが決定し，国連加盟各国では，麻薬撲滅に向けた様々な取組を行っています。

これを踏まえ，厚生労働省，都道府県および公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター(https://www.dapc.or.jp/)では，6月20日(日)から7月19日(月)までの1か月間，「『ダメ。ゼッタイ。』普及運動」を実施しています。この運動は，国民一人一人の薬物乱用問題に関する認識を高めるため，正しい知識の普及，広報啓発を全国的に展開するもので，平成5年から毎年行っています。

本校でも，毎年この時期に高学年を対象とした薬物乱用防止教室を開催し，薬物の怖さ･安易に手を出さないための知識を得る機会を設けています。

【薬物乱用防止教室】7月13日(木)

【6年生】2校時

徳大医学部保健学科教授の奥田様と禁煙キャラクターのたばっこ君が，喫煙の害について，分かりやすく具体的に教えてくださいました。

【5年生】3校時

学校薬剤師の篠原様から，違法薬物の怖さについて教えていただきました。依存性や症状･リスク等について詳しく知ることができました。

【お世話になりました】

6月12日からお世話になっている清水育子先生と，20日の終業式でお別れです。

子どもたちの学力向上のために，授業時間はもちろん，常に教材研究に励み，献身的にご尽力くださいました。本当にありがとうございました。

藍畑小教育

□ 学校教育目標

『心豊かで，たくましい子どもの育成』－自ら気づき，考え，実行できる子どもの育成－

□ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子　　**「い」** いじめをしない やさしい子

「は」 はげましあって がんばる子　　**「た」** たくましい子